津波対策

一部気象庁ホームページから引用

津波から命を守るためには、
「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」・・・直ちに避難!!
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」・・・直ちに避難!!

津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には・・・

地震発生 → 発生後約3分で → ●大津波警報 ●津波警報 ●津波注意報 を発表します。 → その後 → ●予想される津波の高さ ●津波の到達予想時刻 等の情報を発表します。

津波に関する情報

津波警報の発表後

沖合や沿岸の観測点で観測した
津波の高さや到達時刻を発表します。

- 高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。
- 沖合で観測された津波の情報をいち早く伝えます。

「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。
津波が陸上で崖などを駆け上った高さは、
海上の津波の高さの何倍にも達することがあります。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

種類	発表される津波の高さ：数値での発表（予想される津波の高さ区分）	発表される津波の高さ：巨大地震の場合の発表	とるべき行動	想定される被害
大津波警報	10m超（10m<予想される津波の最大波の高さ）	巨大	**ハザードマップの津波浸水想定区域内の住民や沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難**してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
大津波警報	10m（5m<予想される津波の最大波の高さ≦10m）			
大津波警報	5m（3m<予想される津波の最大波の高さ≦5m）			
津波警報	3m（1m<予想される津波の最大波の高さ≦3m）	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m（0.2m≦予想される津波の最大波の高さ≦1m）	（表記しない）	**海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください**。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください!

※大津波警報を「特別警報」に位置づけています。

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、直ちにより高い場所に避難しましょう!

津波予報

地震発生後、津波による災害が起こるおそれがない場合には、以下の内容を津波予報で発表します。
（津波が予想されないときは、津波の心配なしの旨を地震情報に含めて発表します。）

発表される場合	内　容
0.2m未満の海面変動が予想されたとき	高いところでも0.2m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表します。
津波注意報解除後も海面変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入っての作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を発表します。

気象庁防災情報XMLフォーマット電文では、「津波予報」は「津波警報・注意報・予報」としてまとめた形で発表します。